

Check!!

商工会議所 活用法



人事労務グループ部長代理
山田 真彦 氏

広報部長
吉川 公二 氏

DATA

株式会社フェリシモ
代表取締役社長 矢崎 和彦
事業内容：ダイレクトマーケティング事業
設 立：1965年5月
所 在 地：神戸市中央区浪花町59番地
電 話：078-325-5555
<http://www.felissimo.co.jp/>



阪神・淡路大震災後に人々の心の復興を願って
スタートした「神戸学校」

当商工会議所では、会員向けの様々な経営支援メニューを用意しています。
今回は当商工会議所の**検定試験**を活用している会員企業の事例をご紹介します。

検定試験の活用 ～リテールマーケティング（販売士）～

株式会社フェリシモ



バラエティに富んだ商品を紹介するウェブサイト

独自視点光る商品を顧客に直販

株フェリシモは、独自の視点で企画・開発した国内外の商品やサービスを、カタログやウェブを通じて生活者に販売するダイレクトマーケティングの会社。全国に多数の顧客を有する。取り扱う商品はファッションから生活雑貨、手作りキット、美容関連、食品まで幅広く、それらの大半が自社企画商品であることが大きな特徴となっている。

他業種からも注目されるユニークな事業活動について、経営企画室広報部長の吉川公二氏は「取り扱う商品やサービスを通して、顧客1人ひとりのしあわせな生活文化が育まれていきます。当社は、お客さまとの継続的・発展的な関係性をもとに、様々な事業活動や社会文化活動を展開し、『ともにしあわせになるしあわせ』の経験価値を共創していきたいと考えています」と話す。

そうした企業姿勢を体現する商品とし

て、近年国内外で7万セットを売り上げた「500色の色えんぴつ」がある。名前の通り全500色の色鉛筆が毎月25本ずつ届き、20カ月でセットが完成する。青空色の色鉛筆に「鯉のぼりの泳ぐ空」という名前を付けるなど、全色に独自に付けた名前のユニークさも相まって大きな話題を呼んだ。

全社挙げて「売る力」を磨く

新たな商品・サービスを次々に登場させては顧客の支持を集める同社。長年地道に取り組んでいるのが全社を挙げての販売力向上で、そのためにリテールマーケティング（販売士）検定試験を活用しているという。

総務部人事グループ部長代理の山田真彦氏は「原則無店舗のダイレクトマーケティング事業を展開していますが、仕入れた物を販売して利益を出すという基本は店舗販売と同じ。リテールマーケティング検定を通じて販売の全体を学び、1人ひとりが起業家のような視点を持てることは意義

深いと考えています」と話す。

1978年から全部門の従業員を対象に受検を奨励。テキスト支給や検定料の全額負担を通じて出願者をサポートし、合格者には奨励金を支給してきた。例年、次年度の入社予定者には入社前の3級試験受検を勧めている。

これまでに1級約70人、2級約150人、3級約290人の合格者を輩出しており、矢崎和彦社長自ら1級資格を保有。今年2月実施の検定試験では、1級を受検した同社の平尾朋子さんが、合格率19.2%の難関を見事突破し、成績優秀者として日本商工会議所から表彰された。

他の検定試験合格を目指す人に対しても手厚い支援制度を設けており、多くの従業員がそれらを活用してスキルアップを図っている。「会社の制度を使ってビジネスに必要な知識を体系的に学ぶことに魅力を感じている社員は多い。個人のモチベーションがアップすることで組織は活性化する」と、意欲的に学ぼうとする従業員への支援を惜しまない。

新しい価値観を形に

インターネットの普及で購買行動が激変し、苦戦が続く通信販売業界。しかし、いわゆる「通販」とは一線を画する「ダイレクトマーケティング」を標榜してきた自社には、顧客1人ひとりに直接自分たちの信じるものを創り出し提供してきたという自負がある。外部環境がいかに変わろうとも、全国の顧客・取引先などと築き上げてきたネットワークや知恵を生かして新しい価値観を形にし、フェリシモの次の姿を見せていくというスタンスを貫く。

その「次の姿」の1つが、猫好きが集まるコミュニティサイト「猫部」。当初は社内の部活動という位置付けだったが、事業性・独創性・社会性があるとの判断で実際の部に昇格し、猫と人がともにしあわせに暮らせる社会を目指して活動を始めている。

「全てはお客さまに喜んでいただくために」。しあわせをデザインする会社の挑戦は続く。



今回の 活用ポイント

各種資格・検定試験

商工会議所の検定試験は、商工会議所法という法律に基づき、全国統一基準により実施している「公的試験」です。企業規模や業種、業態などに関係なく、ビジネス実務に直結する知識やスキルを重視し、企業が必要とする人材の育成を目的に実施しており、多くの企業から高い評価と信頼を得ています。

検定試験名（級種）	特長・学習効果
簿記検定（1～3級）	経営成績と財政状態を明らかにするために、企業の経営活動を記録・計算・整理でき、経営管理能力が身につく
販売士検定（1～3級）	販売・接客技術、販売促進に向けた企画立案や在庫管理、マーケティングにいたるまで、幅広く実践的な専門知識が身につく
カラーコーディネーター検定（1～3級）	仕事に役立つ実践的な色彩の知識を学ぶことができ、色の持つ効果をビジネスシーンで活かせる
ビジネス実務法務検定（1～3級）	業務上のリスクを的確に回避するための、ビジネスに必要な不可欠な法律知識をバランス良く効率的に学べる
福祉住環境コーディネーター検定（1～3級）	医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識が身につく、高齢者や障がい者に住みやすい住環境を提案できる
環境社会（eco）検定	環境問題に関する総合的な基礎知識をバランスよく学べる
ビジネスマネジャー検定	あらゆる企業の管理職が身につけておくべき「総合的なマネジメント知識」を体系的に学べる
ビジネス会計検定（1～3級）	財務諸表が表す数値を理解して、その知識や分析力を養うことにより、企業の経営状態を判断できる
メンタルヘルス・マネジメント検定（Ⅰ～Ⅲ種）	働く人たちの心の不調の未然防止と活力ある職場づくりのために必要なメンタルヘルスクアに関する知識や対処方法を習得できる

◇次回販売士検定日程

2017年2月15日（水）（第79回）

◇申込期間

12月12日（月）～2017年1月18日（水）

（申込方法等、詳細につきましては神戸商工会議所HPをご参照ください。）

【お問合せ】事業部人材開発チーム TEL 078-303-5808
<http://www.kobe-cci.or.jp/service/jinzai/kentei/>